



法学部独自の奨学金制度  
「やる気応援奨学金」を利用した  
学生の体験をご紹介します



今回ご協力いただいたレストラン「SONO」の店内

## はじめに

2017年春、私は2月4日から3月5日までの1カ月間、「やる気応援奨学金」をいただき、オーストラリア・ブリスベンに滞在しました。「英語力の向上とオーストラリアでの日本酒の需要を調べる」というテーマのもと、素晴らしい経験をすることができました。大学生活という限られた4年間に

おいて、このような経験ができたことを非常にうれしく思っています。今回は、その経験をご紹介します。いただきます。

## テーマ設定に至るまで

やる気応援奨学金の大きな魅力の一つは、自分の好きなテーマを設定できるという点です。既存のプランに従うのではなく、自分从一开始計画することができ、興味のある分野について徹底的に調べることができます。そこで私が設定したテーマが「日本酒」です。というのも、実家が日本酒の造り酒屋というこ

ともあり、幼いころから日本酒がとも身近な存在でした。しかし、現代において若者の日本酒離れをはじめ、日本酒の消費量の減少が著しくなっており、日本酒の存続が危ぶまれています。その一方で、海外では和食が無形文化遺産に登録され、アニメや日本食といった日本の文化が注目されているということは有名な話です。日本での存在が危うくなっている日本酒にとって、海外というマーケットはとても大きな意味を持っていると考えました。そこで、実際に海外に行つて、日本酒が海外の人にどれほど知られていて、どれだけ飲まれているのかなど、現状を知りたいと感じてこのテーマを設定しました。

## 現地での活動について

そして、いざ真夏のオーストラリアへ。現地での主な活動の流れとしては、月曜日から金曜日の5日間は朝から夕方まで語学学校で勉強し、土日に日本食レストランで現地のお客さまに日本酒の試飲してもらってインタビューをする、といったものでした。もちろん語学留学ですから、英語学習にも力を注ぎました。放課後には語学学校の学生とのアクティビティーでサッカー

## 日本酒の海外進出をめざして

—オーストラリアでの試飲を通じて  
見えた日本酒の未来—

いなもと しゅん や  
稲本 隼也

法学部国際企業関係法学科2年  
青森県立三本木高校出身



オーストラリアに約1カ月間留学

